

様式 1

茨城県立石岡第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

<p>(1) 変化するグローバル社会において活躍できる生徒を育成する</p> <p>(2) 伝統の継承・再生とともに社会の変化に柔軟に対応し、生徒・保護者・地域社会からの期待に応える</p> <p>(3) 普通科・生活デザイン科が相互に切磋琢磨しながら教育の質を高め、新しい価値の創造に積極的に挑戦し、社会に貢献できる生徒を育成する</p> <p>(4) 学校、家庭、地域社会と連携・協働し、社会に開かれた創造性豊かな教育を行う</p>
--

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>○地域社会の産業と伝統を中心となって支え、多様性を認め、自他共に尊重できる人間の育成</p> <p>①一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力</p> <p>②疑問を持ち、自ら課題を設定して解決に向け考え抜く力</p> <p>③多様な人々と繋がり、考えを受け入れ、協働する力</p>	<p>・プレゼンテーションやポスターセッションなどの表現による評価</p> <p>・言語活動の記録による評価</p> <p>・学習や活動の状況などの観察記録による評価</p> <p>・評価カードや学習記録による生徒の自己評価や相互評価</p> <p>・保護者や地域社会の人々による第三者評価</p>	<p>・個に応じたきめ細やかな指導</p> <p>・個別面談や教育相談の充実</p> <p>・チーム対応(教員、SC、SSW、家庭、外部機関の連携、中学校との連携、個別の教育支援計画)</p>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 学年	<p>・探究の基本的な技能の獲得</p> <p>・地域の伝統文化・地域の魅力を理解する(5/6月)</p> <p>・地域に根ざした起業家精神を学び、キャリアデザインについて考える(9月)</p> <p>・個人探究：自分の興味を掘り下げて探究課題を設定し、探究の一連の過程(テーマ設定・情報収集・整理/分析・スライドまとめ・プレゼンテーション発表)を体験する</p>	<p>・グロースナビ活用講習会(4月)</p> <p>・石岡市文化協会、い組囃子等外部講師による伝統文化体験(5月)</p> <p>・朝日里山学校での体験プログラム参加(6月)</p> <p>・地域の起業家によるアントレプレナーシップ講演会(9月)</p>	<p>・地域の伝統・文化、地域資源の魅力について、関心をもつ。また、次世代に継承していくために何ができるか考えをもつことができる。</p> <p>・ただ一つの正解のない課題に対しても、解決に向けて考え、チャレンジし続ける。</p>

様式 1

<p>2 学年</p>	<p>・地域の魅力PRや、地域の課題解決に関するテーマ設定をグループ毎に行い、協働で探究活動を行う。</p> <p>※文献調査、インターネット検索以外の主な活動：年2回の地域フィールドワーク（もしくは現地調査）、実験、調理、制作など</p> <p>・1年間の探究活動の成果について、スライドを用いて探究成果中間発表会を行う。（2月）</p>	<p>・まちづくりや地域おこしに携わる専門家による講演会×2回（4月）</p> <p>・石岡市人口創出課との連携：タイ国際交流事業（5月）</p> <p>・分野毎に知見のある地域の専門家を招き、助言を頂く（9月）</p> <p>・地域フィールドワーク/現地調査（9月/12月）</p>	<p>・多様な意見・価値観をもつ人と一つの課題について協働するために必要なことを体得している。</p> <p>・地域の様々な大人と繋がり、地域に生かされている個を認識し、自分事として、課題解決に向けてできることを考え、行動することができる。</p>
<p>3 学年</p>	<p>・6月の探究成果発表会（ポスターセッション）の準備</p> <p>・これまで探究してきた地域の魅力、課題解決に向けた提案について、動画制作を行い、地域社会に発信する。</p>	<p>・石岡市役所、石岡市観光協会その他、地域のまちづくりに携わる専門家から、講評をいただく。（6月）</p> <p>・いばたん学生実行委員会を講師に招いて、より魅力的な動画制作の秘訣について助言をいただく（9月）</p> <p>・いばたん動画制作コンテストへの応募（1月）</p>	<p>・自分自身や地域の魅力、課題解決に向けた提案について、相手に伝えるように「伝える」スキルを身に付ける。</p> <p>・自分自身の進路活動において、探究活動で学んだことを、自信をもって表現する。</p>